

## 岐阜県 輝山(てらしやま 2063m) 南尾根報告

平成21年3月15日(日)

メンバー:A.T R.T I.O, K.O (記) 天候:晴れ

コースタイム:乗鞍スカイライン入口手前の駐車地 7:45 ~ x 地点まで往復(約 70 分コースタイム) ~  
取り付き(9:30-9:40) ~ 林道と合流 10:15-10:20) ~ 1730m地点休息(11:05 ~ 11:20) ~  
山頂(13:05-13:40) ~ 取り付き(15:10-15:30) ~ 駐車地 15:45

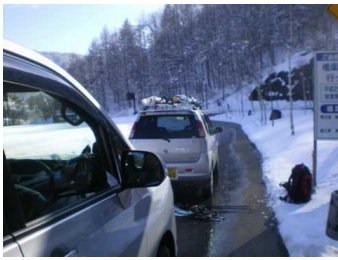
概要:15日は、金曜日からの激しい雨、そして、その後の風雪の天候も回復し、スキー登山に打って付けの日和となった。金沢のドクターのホームページにて、輝山南尾根の記事を読み、今回の計画を立てた。記事の通り、山頂からの南尾根は伐採されており、スキーで滑るには格好の斜面が広がっていた。さらに林道があるので、これを利用してのアップダウンが可能であった。但し、林道の入口から、私たちのとったルートと合流点までの詳細(ルート図の黒の実線?)は不明である。恐らく私たちの取った左の谷添いのルートに対し、向かって右側(右岸)に、林道入口があると思われる。

私たちは、最初、赤いテープに導かれ、南尾根に向かって左側の沢に入る林道?から取り付いた。しかし、途中から傾斜がきつくなり、新雪がアイスバーンの上のっているため、足場がずれ落ち、さらにブッシュに行く手を阻まれ、X印のところで引き返すことにした。結局、この取り付きの変更で、約70分程、時間をロスしてしまった。気を取り直して、仕切り直しとあいなった。

引き返してから、スカイラインをさらに少し前進し、スカイライン入口から約1kmのところ(スカイラインが右に緩く曲がる場所)に入っている沢から取り付いた。前方には小屋が見え、すぐ左前方には鉄塔TBが見える。さらに、南尾根上にも鉄塔TAが見える(ルート図の黒点)。ここが南尾根に取り付くには適切な箇所のようなのである。ドクターもここから取り付いていた。目印として、ここには火の用心の小さな道案内看板があるが、雪が多いときは埋もれているだろう。私たちは、沢の左添いにしばらく進み、ジグザクに登ったが、途中で林道に出くわした。ここから、左前方下に、鉄塔TAが見えた。ここから先はこの林道に沿って、南尾根の中間辺りまで楽に登ることができた。林道と別れてからの南尾根の上部も、左手側の木々が伐採されており、展望も良く、大変登りやすかった。登高中の尾根からは、乗鞍岳が真正面に見え、眼下には国道やスカイライン、朴の木平スキー場が見え、私たちの車も小さく見ることができた。

時間をロスしたため、山頂到着が13時と、予定よりも遅くなったが、山頂からは槍穂高連峰を間近に見ることができ、降雪直後の快晴に感謝した。さらに、下りのスキーも切りどおしの斜面に自由にラインを取ることができ、快適で満足できるものであった。パウダーとまではいかないが、新雪を楽しむことも出来た。帰りは鉄塔TAから直接下に降りたが、最後は雪不足により、高度差30m程はスキーを脱いで出発点まで降りた。そのまま林道どうしに下った方が、林道の入り口の偵察もできてよかったかも知れない。今回は大変満足できたスキーコースであった。ドクターの記録に感謝します。最後に今回掲載したマップは、正確ではありません。参考程度に利用して下さい。

ホームページへ <http://allmt.hp.infoseek.co.jp/>



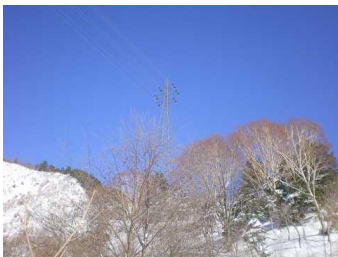
乗鞍スカイライン入口手前の駐車地



スカイライン入口



スカイライン



取り付きから見える鉄塔



取り付きにある見回り案内板



取り付きを見下ろす



途中休憩



乗鞍岳



朴の木平スキー場



山頂にてTさん



南尾根を滑る



南尾根を滑る



南尾根を滑る



林道を滑る



表層が雪崩れる